



昭和三十四年六月一日運輸省特別扱承認雑誌第四五三號
昭和三十四年九月二十日發行(毎月一回發行)

哲學研究

第四十卷 第五册

第四百六十三號

昭和三十四年九月二十日發行

épanouissement de l'esprit (完) 鹿野治助

——ストアの自然と自由——

デイグナーガの知識論 (完) 服部正明

カントに於ける "Transzendental-Philosophie" の理念に就いて 今津鶴雄

日米の宗教學 北川三夫

新着外國雜誌所載論文一覽

彙報

史學研究會

京都大學文學部内
京都哲學會

京都哲學會公開講演會

日時 十一月十四日(土) 午後一時半
場所 京都大學文學部第一教室

ユダヤ民族論……………京都大學教授 白井二尚

「讀書人」身分の「教養」と「倫理」……………山口大學助教授 湯淺幸孫

——中國文化の統一性の基礎——

☆右終了後樂友會館にて懇談晚餐會を開きます。多數御參會下さい。(會費約五〇〇圓)
☆所屬機關長宛出張許可依頼狀御入用の方は京大宗教學研究室まで御申出下さい。

あることが経験される。従つて、その際にもまた、他の(第三の)知によつて知覺されるのであるとすれば、無際限になるであらう。同様にまた『かくては、最初の知が次々に他の知によつて知覺されるから、一つの對象に關する知が(他の對象に移行することもなくなるであらう。然し(實際には、そのことは(一般的に)認められるのである』(PS, I, 12c-d) 故に、決定して、自己認識する知があると認められねばならぬ。そして、それ『自己認識』がまさに(知識作用の)結果なのである』(PSV, 96b, 25) cp. *Śloka tritīkā-nyāhyā*, Ed. by Ramanatha Śāstri, śūnyavāda-sthānam, ad. k. 27, p. 247, 23-24.

(筆者 大阪府立大學教養部〔宗教學〕講師)

告 豫 文 論 號 次

文化人類學についての學問論……	棚 瀬 襄 爾
學としての形而上學は可能か……	阿 部 正 雄
——カント「純理性批判」の窮極課題——	(承前)
宗教的寛容論の哲學的基礎……	岩 坪 紹 夫
——ペールの「事實の明證」について——	
即自・對自の二元性をめぐつて……	木 村 彰 吾
——サルトル哲學の一考察——	

次 目 號 前

<i>epirolōgoujōnōs tōjōkōsei tōjō</i> ……	鹿 野 治 助
——ストアの自然と自由——	
ディグナーガの知識論……	服 部 正 明
ヘイマルメネー……	水 地 宗 明
彙 報	

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會（振替口座京都四〇三九番 京都哲學會）宛に規定の會費（年一、二二〇圓又は半年六一〇圓）をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入、及び發賣に關する一切は東京都千代田區代官町二 創文社

（振替口座東京九二四七二番創文社）宛に願ひます
一、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しますから直ちに御拂込下さい、（一年分又は半年分）

會費は原則として本誌十二冊（又は六冊）の送附済を以て前金切れとし、會費の變更其他の事情による過不足は一年（又は半年）毎に精算します

一、會員の轉居入退會の事務及び編集事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい

一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田
京都大學文學部内

昭和三十四年九月十五日印刷
昭和三十四年九月二十日發行

編集人

京 都 哲 學 會
京 都 大 學 文 學 部 内

編集代表

土 岐 邦 夫

發行人

久 保 井 理 津 男

印刷人

堀 内 文 治 郎

印刷所

堀 内 印 刷 所
東 京 都 神 田 三 崎 町 二 一 六

發 行 所

株 式 會 社

創 文 社

東 京 都 千 代 田 區 代 官 町 二
振 替 口 座 東 京 九 二 四 七 二 番
電 話 丸 ノ 内 (23) 四 〇 〇 八 番

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい

一、本誌の御註文はすべて代金送料共（一部、定價一
二〇圓、送料・八圓）前金にてお送り下さい

第三十四年九月十五日印刷
每月一回發行

THE JOURNAL OF PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XL

September, 1959

No. 5

ὁμολογουμένως τῆ φύσει ζῆν (II)

— *Natur und Freiheit in dem Stoizismus* —

..... Jisuke Kano

Dignāga's Theory of Knowledge (II) Masaaki Hattori

Über die Ideen in der „Transzendental-Philosophie“ bei Kant

..... Tsuruo Imazu

Recent Trends in Religious Studies in America

and Japan..... Mitsuo Kitagawa

Published Monthly

By

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

定價
二〇圓

IBM 6427